



平成23年9月5日

各位

不動産投資信託証券発行者名

東京都千代田区永田町二丁目4番8号

ニッセイ永田町ビル7階

ビ ・ ラ イ フ 投 資 法 人 代表者名 執 行 役 員 瀧 美知男 (コード番号: 8984)

資産運用会社名

大和ハウス・アセットマネジメント株式会社 代表者名 代表取締役社長 山田 裕次 問合せ先 財務企画部長 漆間 裕隆 TEL. 03-3595-1265

## 担保権の解除に関するお知らせ

ビ・ライフ投資法人(以下、「本投資法人」といいます。)は、本日、有利子負債のうち、タームローンIの借入先金融機関との間で、担保権の解除(以下、「本件担保権解除」といいます。)に関し、下記の通り、担保権を解除する旨を定めた覚書を締結することを決定しましたので、お知らせします。

記

#### 1. 本件担保権解除に関する合意内容

(1) 覚書の締結について

本投資法人は、本日付で、タームローン I の借入先金融機関(株式会社三井住友銀行、中央三井信託銀行株式会社、株式会社みずほコーポレート銀行及び株式会社三菱東京UF J 銀行)との間で、本投資法人の一部の運用資産に対する担保権を解除する旨を定めた以下の内容の覚書を締結しました。

#### (2) 本件担保権解除のための条件

- ①本日開催された本投資法人役員会にて決議された、一般募集による新投資口の発行における発行 価額の総額に相当する額の払込みが完了したこと。
- ②タームローンIIの最終の元本弁済日(返済期限)である平成23年9月30日までに、無担保による新規借入金を原資として、タームローンIIの借入債務及び下記の別除権付再生債務が完済されたこと。
- (注) 新投資口の発行等の概要については、本日付で別途公表した「新投資口発行及び投資口売出しに関するお知らせ」をご参照下さい。

#### (3) 本件担保権解除の対象資産

本件担保権解除の対象となる資産は、以下の不動産を信託する信託の受益権(不動産信託受益権)及びそれらに関連する資産(火災保険金請求権等)になります。

<ご注意>この文書は、本投資法人の借入金に関して設定されている担保権の解除に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。





(単位:百万円)

(甾位, 僖田 畄位土港団体で)

用途	物件番号	エリア	担保対象物件の名称	特定資産の種類	第10期末評価額 (平成23年2月末)
	1001	エリア1	クイズ恵比寿	不動産信託受益権	7, 990
居住施設	1002	エリア1	イプセ麻布十番七面坂	不動産信託受益権	4, 040
	1003	エリア1	イプセ芝公園	不動産信託受益権	1, 950
	1004	エリア1	イプセギンザ	不動産信託受益権	1, 920
	1005	エリア1	ネクストフォルム西麻布	不動産信託受益権	1, 620
	1006	エリア1	イプセ日本橋	不動産信託受益権	1, 020
	2001	エリア2	目黒かむろ坂レジデンシア	不動産信託受益権	3, 740
	2002	エリア2	イプセ都立大学	不動産信託受益権	505
	2003	エリア2	コンフォートタイム大塚	不動産信託受益権	694
	3001	エリア3	コスモハイム武蔵小杉	不動産信託受益権	1, 530
	4001	エリア4	フォーティーンヒルズイーストタワー	不動産信託受益権	1, 470

# 2. 本書の日付現在の担保設定の状況

2. 平音27日115年117日末政定27人代 (単位: 18月、単位本)				
	借入残高	返済期日	担保設定の状況	
タームローン I	125	平成24年7月31日	有担保	
タームローン Ⅱ	157	平成23年9月30日	有担保	
タームローン Ⅲ	105	平成27年12月28日	無担保	
別除権付再生債務	160	平成24年1月31日	有担保	
再生債務 (借入金)	454	平成 25 年 1 月 31 日~ 平成 27 年 1 月 30 日	無担保	
再生債務(投資法人債)	223	平成 25 年 1 月 31 日~ 平成 27 年 1 月 30 日	無担保	
有利子負債合計	1, 226	-	-	

### 3. 本件担保権解除後の財務戦略等

上記の本件担保権解除のための条件が成就し、本投資法人の運用資産に対する担保権がすべて解除された場合、本投資法人における今後の財務戦略の柔軟性と機動性を増すことができるものと考えています。 本投資法人は、投資法人債の発行を含め、資金調達の多様化を進め、健全な財務基盤の再構築に向けた 財務運営を推進していきます。

### 4. 今後の見通し

本日付で別途公表した「平成24年2月期(第12期)及び平成24年8月期(第13期)の運用状況の予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上

- ※ 本資料の配布先: 兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
- ※ 本投資法人のホームページアドレス: <a href="http://www.blife-reit.co.jp/">http://www.blife-reit.co.jp/</a>

<ご注意>この文書は、本投資法人の借入金に関して設定されている担保権の解除に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。